

打倒AKB、やれんのか?

乃木坂の乱!

スペシャル
つついー一緒に
踊りたくなる

振付師 南



初激白!!



“乃木坂ダンス”誕生秘話

メジャーデビューから二年が経ち、ますます勢いのる乃木坂46。AKB48のライバルとして結成された彼女達の数ある魅力の中でも、ひととき異彩を放つのはその独特のダンスだ。誰もが一緒に踊りたくなってしまふような乃木坂ダンスの秘密を探るべく、結成当初から振付を担当する南流石に取材を敢行し、その極意を語ってもらった。

素の素材の良さ

デビュー曲から乃木坂46の振付を担当している南先生ですが、どういった経緯で担当することになったんですか?

南 ソニー・ミュージックエンタテインメントの担当の方から、秋元(康)先生が私でいいかと仰ったという連絡をいただいたんです。先生とはいる人な番組でお会いしています。先生がやってた番組に出演している人の振付をしたりしていました。

依頼された時の感想は?

南 秋元先生があれだけの有名なアイドルをやられてるのに、依頼されたことがなかったから、「あれ、どうしたのかな?」(笑)。「乃木坂46のスタートは南さんでいきい」という流れになったんです。

メンバーが決まってきた時の話ですか?

南 そうです。1stシングルの発売日が決まって、その振付をしてほしいという話でした。デビュー前のレッスンはノータッチなんです。

南 そうですね。私はデビュー曲の振付から入りましたね。

秋元さんから、こうしてほしいという依頼はありましたか?

南 秋元先生からの伝言で「差別化をしたい」と聞いて、依頼された理由が納得できました(笑)。「AKB48の公式ライバル」としてデビューするわけですが、

まったく違う系統にしたいんだろなと思います。そうだと、思い出し自分ではおかしいですけど、「大御所でいたい」「言われたんですよ(笑)。衣装デザイナーの方もすごく著名な方で、私も名前を存じ上げていたから嬉しかったですね。

初心者には教える苦労もあったと思うんですけど……

南 でも、私は初心者(教えることが)多いですから、今まで何千人もやっているので、色がついていへうがいんですよ。バリバリ踊れる子ばかりがいて、いるから、だからセロフというのは、一番やりたいものですね。

———と吸収していきなすね。

南 素直に吸収していきなす。最初のイベント(お見立て会)を観に行ったんです。踊ったり歌ったりトークしたりしてたんですけど、「うん、セロだ」と思って、ワクワクしました(笑)。最初から参加できるのはやりやすいし、やり甲斐がありますから。

「10人でAKBに肩を並べる」という船れ込みでしたね。

南 言ってますね。そんなこと(笑)。私にはプレッシャーはからなすけど、本人たちにはからなすね。

ライバルですから、どうしてもAKBと比較してしまいます。

南 Bと比較してしまいます。メンバー、方向性、楽曲、衣装、そして振付の違いも見ます。比較されることを意識してはいたか?

南 あの子たちで一番いいなと思ったのは、素の素材ですね。AKBが悪いという意味じゃなくね。素の素材がいい子がえらく多いから、着飾って作り上げる方向にいかなくていい。素材を大事にしないかと思いましたが、特に真ん中の生駒(里奈)。最初に会った日に、この子が乃木坂のカラーを作ったろうな。

それだけモノが違ったんですか?

南 なんと言えはいいか難しいですね(笑)。だけど、全体的に原石が多いなうて思いましたね。数千人を見てきた先生も感じる、とびきりの原石ばかり。

初めて会った時に感じました 生駒が「乃木坂のカラーを作る」と

南 結構いますね。本人たちには言っていないけど(笑)。
その輝きで、言葉にするって難しいものなんですわ。

南 年齢に関係なく、「そこにいる意味をわかってる子」かな。自分の意志でそこにいる子は、リハサルやレプンを意味のあるものにするところから、目が違う。必然的にそれが輝きになりますよね。特に生駒はこが断トツなんです。

南 17歳ですけど、すごく背負っているんですよ。

南 本人はすごく大変かもしれないけど、それは選ばれた子だから。アイドルとしてだけでなく、人としても選ばれてると思います。だから断トツなんです。

南 そんなに違うんですね。

南 外に一番現れているのは彼女だと思います。内に秘めている子はたくさんいると思いますけど。

南 そういう話を生駒ちゃんにされたことはありますか？

南 彼女も悩む事がありますし、私も感じることもありますから、声をかけた時に、いま何に悩んでいるのか、何がうまくいっていないのかとか、そういう話は何度かしたことがあります。乃木坂として選ばれた人間のやるべきことをよく考えてますよね。

南 彼女は、グループの個性について一番考えているように思います。

南 そうですね。でも、彼女たちはまだ探している段階ですからね。

紫のサイリウムでライブ会場を一杯に

——デビュー曲の「ぐるぐるカーテン」ですが、というイメージだったんですか？

南 曲やアーティストに限らず、自分の中から出てきたものを振付するんですけど、あの曲を聴いた時に「スカートを揺らす」というのがポンと出てきたんです。秋元先生に伝えたら、「他のグループでもやっているじゃない」って仰らなれてんですけど、「今までにない揺らし方です」と言いました(笑)。

南 品は意識しました。あのギンガムチエックのワンピース衣装を見た時も、アイドルの中でも画期的だなって思いましたし、私の考えいることは間違っていないかと確信しました。何も悩まなかったですね。

南 「乃木坂って、どう？」で放送されたんですが、サビに入る前に生駒ちゃんが振り向きながらジャンプしたのを見た先生が、「これいい」と採用していました。

南 私の言う通りにやらないというポイントもあるけど、本人たちから何かが出てくることは、その曲に対して何かを感じて、意見があるということだから、大事にしたいんです。生駒の意見は結構採用されますよ。

南 メンバーと初対面の時にかけた言葉はありますか？

南 「自分で決めて来たんだよね」って聞きました。「はい」って言ったから、「ツケ」それだけ聞いておきたかったでおしまいって。

南 メンバーが先生に相談してくることもあるんですか？

南 振付は全部私が作りますし、要のところは現場に行くんですけど、あとはだいたいのうちチーム「流石組」で回すんです。これは私のルールなんですけど、マネージメントがいる以上、べつたりになてはいけないんです。マネージメントの教育と振付師の教育がズレたら、迷うから。

南 私ほは保ちます。電話もメールも絶対に教えない。言いたいことがあれば、直接マネージメントに言います。彼女が今こう思っているみたいですけど、どうですか？

南 ただ、先生のブログを読むと、尋常ならざる愛情があるように感じます。

南 ありますよ。あるからやめてない。自分が彼女たちに愛情を持たろうなうって最初にわかったから、だから逆に距離をとっていますね。

南 どうぶりの関係になつてはいけなうと。

南 うん。お互いにね。

南 その愛情の濃さはなんだろうなうって最初から思っている(笑)。

南 最初から思っているという親目線ですか？

南 「一言いえば、いい子たちですよ。すてない。だつて、いスケジュールでやってくるんです。私、感動するもん。だから、なんとか助けられないかな」と思っています。

南 秋元さんからは「1人だけ」ということになったんですか？

南 たぶんそうだったと思います。「ギョー」で「1人だけ」だと思います。振付はかりか、MVの監督もされました。

南 そうそうそう。「乃木坂の詩」(デビュー曲のカップリング)のね。秋元先生から、「この曲は振付だけじゃなく、監督もしてほしい」と言われたんです。監督やつたことないですよ。一つ言ったら、「やてないからいいんだよね」って言われて。その後私からMVのテーマとしてあげたのが、「乃木坂の詩」紫のサイリウムを思いついた。これは、品のある女の子たちがいつかライブ会場を紫のサイリウムで一杯にするっていうことなんです。

南 「四六時中」というのは「46」とかけてるんですか？

南 そうですね。「会場中が紫のサイリウムを持つてあたたかさを応援する画面を思い浮かべながら、踊ろう」ってみんなに言ってますよね。

南 まさに先日デビュー1周年のコンサートで実現しました。

南 すていしよ。それをイメージして作りました(笑)。



ライブの定番曲の定番「乃木坂の詩」紫のサイリウムを手に、ファンとメンバーがひとつになって盛り上がる。

単なる仕事相手としてでなく一線を越えた感があるんですよ



無邪気な笑顔が爆発する「おいでシャンプー」。先日のデビュー一周年記念ライブでは、隣の人の腰を掴んで仲良く踊るファン姿も見受けられた。

先生がライブの振付も統括されているんですか？

南 そうです。私がリハールから全部チユクしています。私が振付してない曲は、数曲しかないですから。握手会の前に3曲くらいやるでしょ？ それも全部うちのチームがやるんです。そうなんです。フォーメーションから何から何まで。

南 そうです。演出の人の希望を聞いてから、私が作るんです。私が行けない現場にはうちのスタッフが行く。フォーメーションを組むのは全部私です。

南 だから、品のよさが保たれている。保たれてるでしょ(笑)。衣装も清楚だし。

南 「くるくるカーテン」の振付は新鮮に感じました。

南 自負ですけど、旋風は起こせたかなって思いました。皆さんのリアクションも含めて、ちょっと見たことなかった。自分でもやりきた感がありました。

どこに行っても私の娘たち

ね。この中からテーマが見つかったから。それは、品とか綺麗さとかですか？

南 はい。自分が乃木坂でやろうとしていること、キープしたいことは、オリジナルの私の振付でいくっていうことですね。他と似たようなことは絶対にやらないと心に決めました。だから好きな人はすごく好きになってくれるし、通常のアイドルっぽいものを望む方は違ってくる。その違いを私は絶対に見せたい。元先生が決めたことですね。

私のおでシャンプー、「走れ！Bicycle」、「制服のマネキン」、君の名は希望と、シングルが4曲出てますけど、思い入れ深いものは？

南 「おでシャンプー」はすごい事件になりましたよね。デザイン的にはあの中にスカートをはいていたから、私の

チェクミスですね。あれがスカートに見えないっていう。うーん、あれは画期的だと思ったんですけど(笑)。

南 そんなに騒がなくていいんだけど、いましげだね。

南 私も思いました。でも、おかげさまで話題はなりましたよね。

南 「走れ！」は二気に躍動感が出ました。

南 あれはチャレンジしたんです。「おでシャンプー」ではみんな羊虫みたいにくっついて、「くるくるカーテン」と同じテイストで2曲作ったので、少しスキルを上げて、難しくしました。

南 やっぱメンバーをイメージしながら考えるんですか？

南 もちろんです。写真を見ながら考えるんです。それが一番大事ですね。

南 とすると、「制服のマネキン」は全メンバーで踊るから大変ですね。

南 初めての全員から、みんな喜んでたよね。嬉しかった。

南 「マネキン」では、印象がまた変わりましたよね。

南 秋元先生から「男の子はいい要素もそろそろ出したほうがいい」という提案がありました。「走れ！」は女の子らしさの中でスキルアップで、「マネキン」はガラッと変えたんですよ。床にお尻をツンツンして、私にとっても挑戦だったんです。

南 そして、5人シングル「君の名は希望」がリード曲ですね。

南 誰かせる曲ですね。でも、ただ立って歌うだけじゃいけないから考えてはいい言葉で。

南 指差しがポイントですか？

南 ですね。私の中のポイントは、その時の膝カクンなんですけど。

南 あ、右ひざを曲げますね。先生の振付で共通しているのは、覚えやすいっていうことじゃないですか？

南 ホント？ 嬉しい笑。

南 だから、ファンの人がついていってしまいたいんじゃないかと。

南 今、握手しそっくりになりましたよ(笑)。「いいいちゃっちゃん」を狙ってる

ですよ。つられてしまおうとか、試してみたいなっていうのが私のテーマですよ。

南 「おいでシャンプー」では、ファンがみんな羊虫ダンスでつまづいて(笑)。

南 あと、おまわりで人気らしいですよ。

南 そんなところまで波及してしまいたか(笑)。

南 私への依頼はおしりかじり虫、ハロキティ、しまじろう、くまモンといった、子供が喜ぶものが多いから、いつも研究しているんです。私は見せつけものにも興味がないんです。みんなが参加したくなるものをやりたいんです。踊りはコミュニケーションだと考えているから、メンバー同士のコミュニケーションをはかりたくて、「おいでシャンプー」の振付を作ったんですよ。あの子たちの無邪気な笑顔が出るにはどうしたらいいかを考えた。女の子同士がくっつくことじゃないかと。それなら無邪気な本音の笑顔が出たんですよ。

南 幕張メッセで約9000人のほぼ全員が手を挙げて踊るわけですから、これをコミュニケーションツールですね。

南 うれいですよね。一年でそこまです。最初には「乃木坂の詩」に関しては、こちらから振付を提示しようって言ったんですよ。最初のやつが去年の3月3日のようみうランド。初めての握手会ですよ。あの時はお客さんがほとんどやらないです。桜井(玲香)とかがファンの前でレクチャーしたんですけどね。だから、私はこれまで来たことがうれいすね(笑)。

南 たった1年で本当にすごいんですよ。

南 彼女たちはよく頑張っていると思えますよ。大事なのは彼女たちが精一杯やっているからだから。

南 そうですよ。最後、「乃木坂の振付」を定義するとしたら、何だと思えますか？

南 その答えになるかわからないですけど、普通はアーティストに振付を渡して終わるじゃないですか。ただ、その一線を越えた感があるんですよ。単なる仕事相手ではないんです。だけど、一線を

南流石(みなみ・さすが)

一度見たら忘れないオリジナル性の高い振付で、多くのダンスを世に発信し続けてきた日本を代表する振付師。幼少期より様々なジャンルのダンスにいくつものテレビCM、有名アーティストの振付演出を担当し、現在に至る。今までに担当した主なアーティストは、サザンオールスターズ、榎山雅治、SMAP、B'z、PUFFYなど。自らが率いるクリエイティブダンスチーム「流石組」では後継者の指導にも当たっている。

取材協力 / AVOCADO 下北沢店

を超えたから、この先に私以外の振付師が担当してもオケなんですよ。私が育ててきた子たちだから、他の先輩も与えてもいいんですよ。ただし口とカラダにいい先輩ならね。わかります？(笑)

南 血のつながった親子だから、どこに留学してもいいよって……。

南 そう。だってデビューから関わっている子たちだから、「どこに行っても私の娘よ」という誇りと事実があるんです。私が困るのではなく、いろんなものを吸収する場が増えるのはいいことだと思える自分がいるんですよ。

南 すごく境地ですね。

南 これが私と乃木坂の二年ですよ。彼女たちからしたら「ほーかー」でしようね(笑)。あと、いつも言っているのが、「ステージ上であなたが楽しむことを優先しよう」ということなんです。一般的には自分たちが楽しまなきゃ、お客さんは楽しませられない！って言うらしいんですけど、私は逆に、「あなたが先に楽しんじゃダメ、お客さんが楽しんだら自然と楽しくなるから待って」ってずっと言っています。

南 十代の子には高ハードかもしれないですよ。

南 いいんですよ。私がやっていることは、あの子たちの記憶に残ることなんです。今日でなくてもいいんですよ。そういう教えたメンバールが先生についてどう考えているか知りたいですね。

南 いやいや、私は知らないままがいいんです(笑)。